

横浜市立みなと赤十字病院 2020



病院概要



- ◆公設民営 (横浜市・日本赤十字社)
- ◆開院 2005年4月1日
- ◆634床 (一般584・精神50)
- ◆診療科36科
- ◆一般急性期 平均在院日数約10日
- ◆1床当りの延べ床面積 117m²
* 国内でも屈指の広さ⇒災害時活用

みなと



ヘリポート

船着き場



看護部紹介



看護部理念

患者さんが**その人らしく生活できる**よう、
やさしく**的確な看護**を実践するために
たゆまず努力いたします。

患者さん：

あらゆる健康レベルの人。患者とその家族はひとつの単位。

その人らしく生活できる：

基本的欲求が充足する。人の持つ選択権、決定権、価値観、
存在を尊重する。

やさしく的確な看護：

看護師はかけたる部分の担い手（知識・体力・意思力）で
あり、自立に向けた援助や生活行動を援助する。医療チームの
一員であり、根拠に基づき効果的な看護を実践する。

たゆまず努力：

専門職として自己教育を行い続ける。

看護体制・職員

- ◆全職員数 約1240名
- ◆看護師総数 640名（男性46名）
- ◆看護単位数 19単位
- ◆入院基本料 急性期入院基本料1
- ◆看護体制 7対1
夜間12対1
- ◆勤務体制 変則2交代制
- ◆看護方式

『固定チーム継続受け持』

- ◆日勤：8:30～ 17:00
- ◆夜勤：16:00～翌9:00



みなとの3つの「つなぐ」

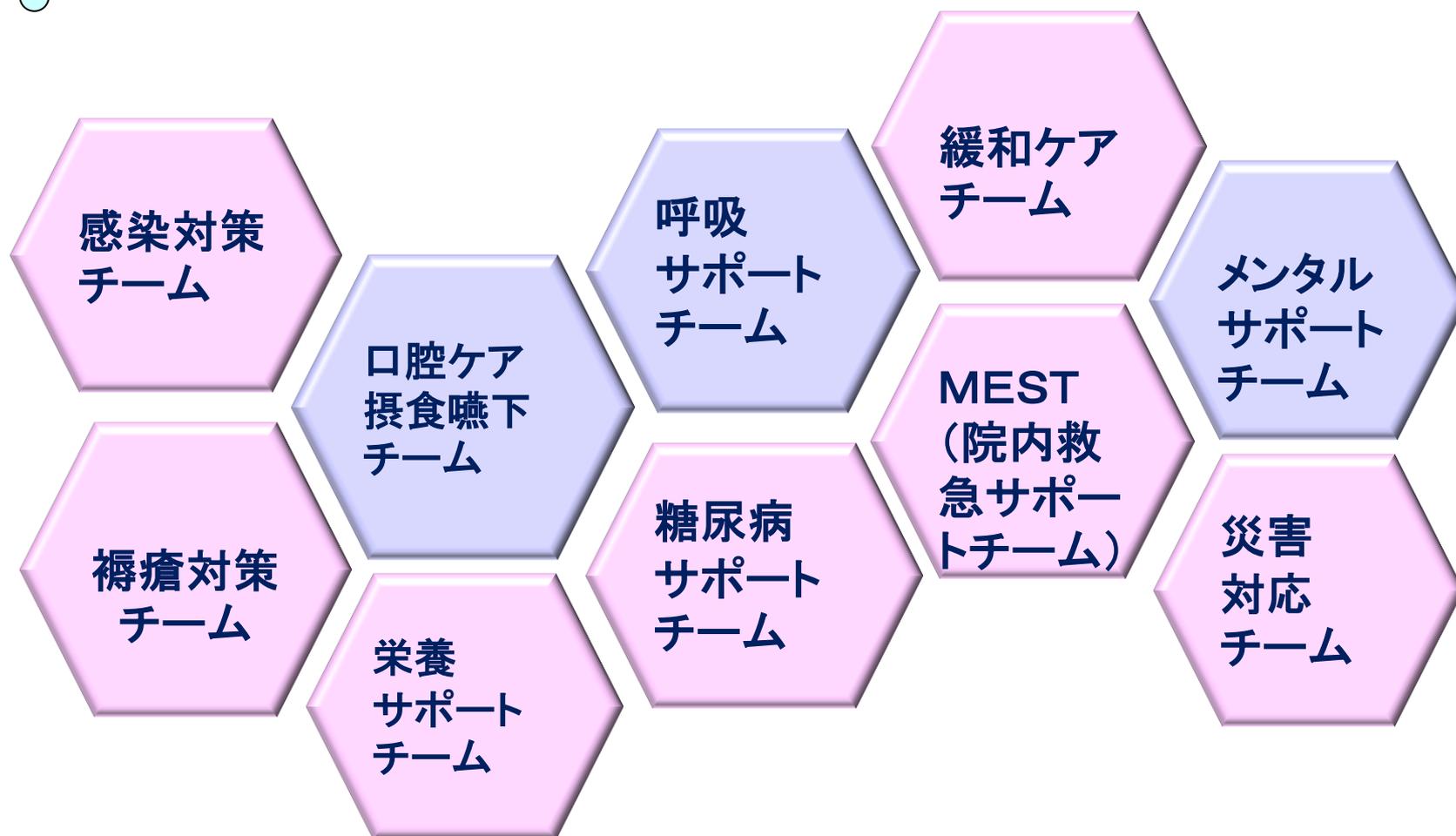
チームで
つなぐ
救急医療

命を
つなぐ
災害救護

未来へ
つなぐ
教育ラダー

みなとの多職種チーム

専門・認定看護師のリーダーシップ
看護実践能力の高い看護師の存在



命をつなぐ災害看護

東日本大震災



熊本地震



羽田空港大韓航空機火災



茨城県水害



命をつなぐ災害看護

2018年 北海道胆振東部地震出発式



命をつなぐ災害看護

令和元年房総半島台風出発式



命をつなぐ災害医療 ～国際救援～

2015年ネパール沖地震に
1カ月派遣

2018年バングラディシュ南部避難民
保健医療支援事業に4カ月派遣



未来へつなぐキャリア開発ラダー

教育目的

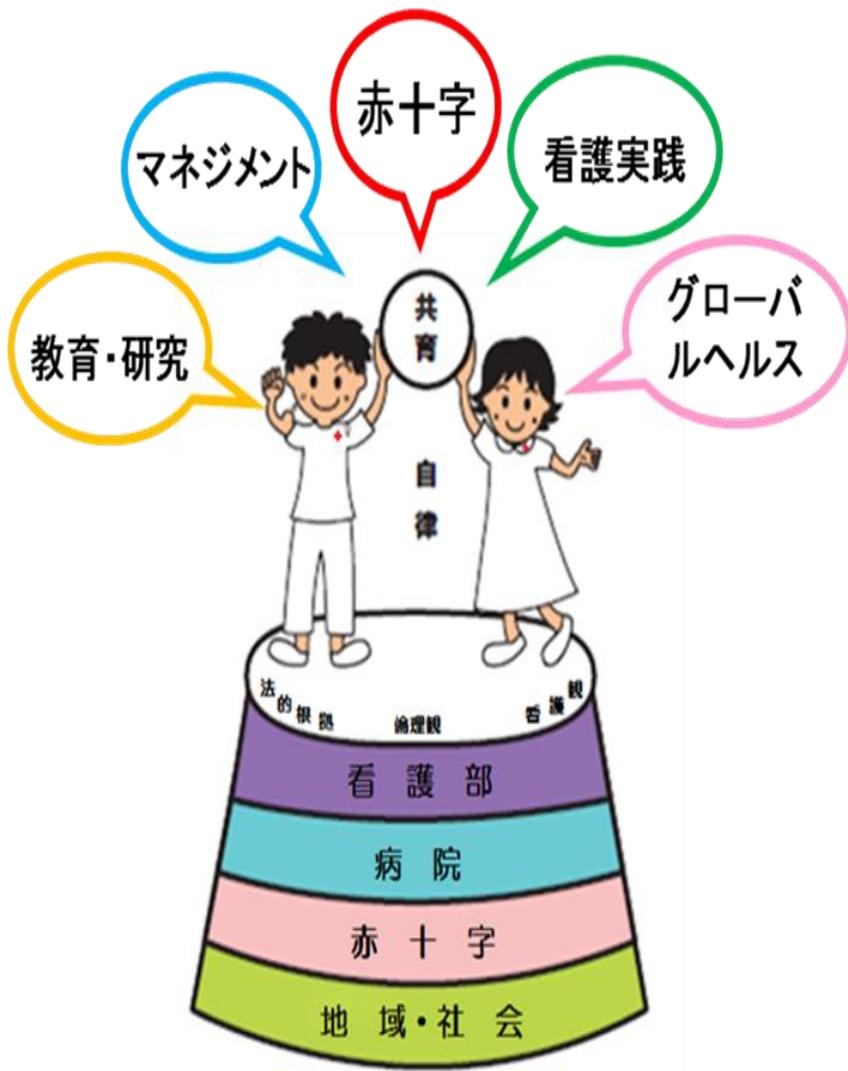
看護部の理念に沿って、ひとり一人が
役割を果たす中で、**自己成長**するとともに、**相互に教育**しあえる看護職員を育成する。

キーワード

共 育



求める看護師像



人々に貢献できる
実践力

専門職として
自律する



ライフイベント
と折り合う
働き方・学び方



支援体制：プリセプターシップ

プリセプターとサポーターの
2人で支える大切な1年間

細やかなサポート
をしてもらっています。安心です。

チームの
皆で支える
からね。

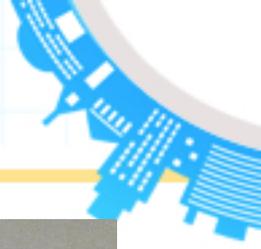
まかせ
てね！

プリセプターシップ
期間：1年間
支援体制：

共育

プリセプターシップイメージ図





チーム医療ワークショップ

チーム医療を大事にする当院では、新入職者の研修として多職種による研修を実施しています。

多職種でテーマに沿ってグループワーク



新入職同期での研修は楽しいです。

人脈をつくれます。

ポイント！

研修の成果と共に新入職の多職種とのつながりができます

専門・認定看護師



赤十字救護看護師

キャリアアップを目指せる環境があります



皆さんをお待ちしています

